



にっしん

学校だより

令和7年4月11日

第 1 号

令和7年度がスタートしました。皆様のご期待に沿えますよう教職員一同、全力で教育に携わってまいります。皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

入学・進級おめでとうございます ～始業式 校長あいさつ～

3月30日、ふくい桜マラソンが行われました。友達が参加していたので、私は武道館前の道路に、応援に行きました。13,485人もランナーが、参加したそうです。福井県以外の全国からも多くの人々が来ています。速く走る人が、若い人が、かなり年齢を重ねた方々が、長い列を作っていました。

この日のマラソンから気付いたこと、考えたことがいくつかあります。

マラソンの距離は42.195 kmもあります。この距離は2000年以上も前に、ヨーロッパのギリシャという国で起こった出来事に由来しています。鉄道や車がない時代に、戦いの勝利を知らせるために、42キロと195メートルを走って多くの人々に大切なことを知らせたのです。この長い距離を走ることは大変つらいことです。一人一人のランナーが、自分の目標をもちゴールする、決めたことをやり抜くことは、大変素晴らしいです。

私はまた、懸命に走るランナーの皆さんを、いつのまにか応援する気持ちになっていました。知っている人だけでなく、知らない人、走っている人みんなに「頑張って」と、応援グッズを振りました。必死で走っている人、ゆっくり走っている人に対しても、自然と応援したくなりますね。なかには「ありがとう。」という大きな声が返ってきた人もいます。こちらが、パワーをもらった気持ちでした。

さらに、マラソンを支えたボランティアの人がたくさんいました。日新公民館の主事さんや、体育振興会の人に会いましたが、ランナーにドリンクを渡す給水のお手伝いをしていました。お医者さんが「救護」担当として走っていました。1万人を超えるランナーが道路を走るマラソン、この大きな大会を無事に行うためには、多くのいろいろな人の協力、支えがあることを改めて知ることができました。

最後に、1年のスタートにあたり、みなさんにぜひ考えてほしいことをお話しします。

「目標をもつ」ことについてです。4月は学年が一つあがって、新しい1年が始まる区切りのときです。みなさんは、去年とは違う、何かができる年にしたいと考えているのではないのでしょうか？何か目標を立てると、粘り強く取り組むことが必要になります。先に話したマラソンにおいてゴールできた人も、途中で足が痛くなってゴールできなかった人もいます。大切なことは、難しく思えることに取り組んだこと、チャレンジすることのように思います。

そして皆さんに考えてほしいのは、自分だけで解決できない、困ったことがでてきたら、お友だちに相談する、周りの人に助けを求めることです。困っている人、苦しんでいる人がいると、必ず誰かが助けてくれます。また、自分ができることであるときは、みなさんも手を差し伸べてくれると私は信じています。

今年日新小学校は50周年を迎えます。みなさんと一緒に、素敵な1年にしていきたいと思います。